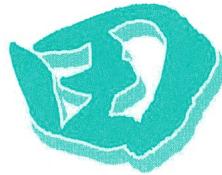


No. 3135

2025-2026年度

会長 木本 隆昭  
 幹事 児嶋 正人  
 クラブ広報小委員長 福田 一由



第2640地区  
 毎週木曜日 12:30  
 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



よいことの  
ために  
手を取りあおう

## 本日のプログラム

令和7年12月11日 第3136回

- ・年次総会
- ・ソング：「四つのテスト」

## 前回の報告（第3135回例会）

開催日 令和7年12月4日(木)

点鐘 [木本会長]

## ゲストの紹介 [酒井親睦活動小委員長]

ゲスト:任 泰然氏(米山学友)

## 今月の誕生日祝 [酒井親睦活動小委員長]

会員誕生:中村吉伸君(12/7)、岩橋行伸君(12/18)、  
 宮井清明君(12/19)、石垣洋介君(12/20)、  
 井上修平君(12/30)  
 配偶者誕生:手島ひかりさん(12/20)、  
 酒井久美さん(12/28)



## 12月お誕生日

左写真: (左から) 石垣君、宮井君、岩橋君  
 右写真: (右側) 井上君

おめでとうございます！

## 博士号取得の記念品授与



ロータリー米山記念奨学会  
 より任泰然君に博士号取得  
 の記念品が届きましたので、木本会長から授与され  
 ました。

## 2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう  
 みんなに会おう」



## 次回のお知らせ

令和7年12月18日 第3137回

- ・外部卓話: 神山裕介氏 ((株)TechnologyDock)  
 「データ処理という一本の軸—工場から金融、みかんへ」
- ・ソング: 「我等の生業」

## ニコニコ箱の報告 [川口SAA]

木本君:米山学友 任泰然君、この度の博士学位の取得  
 おめでとうございます。本日の卓話宜しくお願ひ致しま  
 す。

児嶋君:任泰然君、ようこそ有田RCへ。博士号取得、誠に  
 おめでとうございます。本日の卓話よろしくお願ひ致しま  
 す。

成川(守)君:任君、遠方のところようこそ有田RCへ。

石垣君:米山学友 任泰然様、本日は卓話御苦労様で  
 す。

岩橋君:任君、ようこそ有田クラブへ。お元気ですか。

上野山(捷)君:任泰然様、ようこそお越し下さいました。本  
 日の卓話楽しみにしています。

橋爪(正)君:任泰然君、早退することになり、卓話聞けず  
 に残念です。卓話よろしくお願ひします。

宮井君:任泰然君、お久しぶりです。本日の卓話よろしく。

松村君:任泰然様、卒業、就職おめでとうございます。これ  
 からは働いて働いて働いてください。

中元君:任泰然君、本日の卓話楽しみです。よろしくお願  
 いします。

上野山(栄)君:任君久しぶり。お話楽しみです。

橋爪(誠)君:任君お久しぶりです。卓話よろしくお願ひし  
 ます。将来の夢実現の話かな?

井上君:任君お久しぶりです。卓話楽しみにしています。

菅原君:任君、博士号取得おめでとうございます。又、本  
 日の卓話楽しみにしています。

福原君:任君お久しぶりです。本日の卓話よろしくお願  
 いします。

嶋田君:任君ようこそ有田ロータリークラブへ。お久しぶり  
 です。卓話楽しみにしています。

福田君:任泰然様、本日の卓話よろしくお願ひいたしま  
 す。

酒井君:任さん、本日は有田RCにお越しいただきありがと

うございます。卓話楽しみにしています。

川口君:任君、久しぶりの有田RCですね。博士号取得おめでとうございます。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

### 出席報告

[クラブ管理運営委員会 松村副委員長]

本日の出席者20名／24名

(うち出席規定免除者6名／7名)

### 会長の時間

[木本会長]

皆さん、こんにちは。今月から12月になりました。12月のことを師走と呼びますが、これはこの時期に「師」(僧侶)が年末の仏事のために忙しく走り回る様子が語源とされています。皆様もご多忙かとは思いますが、2025年最後の月の例会に、頑張って出席して下さい。



まず報告ですが、私は11月23日に御坊南RCの50周年記念式典に出席してきました。出席者は52名で、主に2分区の会長・幹事が出席していました。また、御坊南RCは鹿児島県の都城西RCと姉妹クラブ締結をされていて、都城西RCからは会長をはじめ13名もの会員が出席していました。姉妹クラブとの大変良好な関係を感じました。記念式典・記念祝宴はともに滞りなく終了しました。

さて、12月は「疾病予防と治療月間」です。この月間は、ロータリー会員が疾病の予防と治療に関する活動に参加し、意識を高めるための特別な強調月間です。

ここで、RIのHPに載っている「疾病との闘い」を紹介させていただきます。

「誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療をうけられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。」

世界で数百万人が病気に苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人々がより良い医療を利用できるよう支援しています。

マラリア、HIV、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人々を苦しめる病気の予防・治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断も行っています。

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかる病気の蔓延を食いとめ、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への信頼など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。

疾病との闘いにおける成果として、**ロータリー財団**は、世界各地のプロジェクトや活動に補助金を提供しながら、疾病の予防と治療に力をそそいでいます。

**6,500万ドル:** 疾病予防と治療のためにこれまでロータ

リーが授与した補助金

**99.9%:** 1985年にロータリーがポリオ根絶活動を立ち上げて以来の発症数の減少率

(ロータリーによる活動の例)

### きれいな水の提供

ガーナでは、他団体と協力して国内全人口80%以上にきれいな水を提供し、ギニアワーム感染症を予防しています。

### HIV感染の減少

リベリアでは、妊娠初期の女性たちへのHIV検査を支援しています。2年間でHIVの母子感染を95%減らすことをめざして、出産前ケアを推進しています。

### ポリオの根絶

私たちは、**ポリオを世界から根絶する活動**で、大きな役割を果たしてきました。懸命な活動により、世界ほぼ全ての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などのほかの疾病の追跡システムにも活用できるインフラが構築されました。

ポリオ根絶の実現まであと少しです。

最後に、私たちにもできる支援としてロータリー財団への寄付をよびかけています。

### 幹事報告

[児嶋幹事]

- 1.御坊南RCから50周年記念式典出席のお礼文が届いています。回覧
- 2.国際ロータリー第2640地区から調査協力のお願いで「青年と共に考える社会奉仕」がテーマです。回覧
- 3.ロータリー誌が届いています。回覧
- 4.例会変更案内 後方掲示
- 5.例会終了後、第6回定例理事会を開催致しますので、理事の方々宜しくお願ひ致します。



### 卓話



米山学友  
任 泰然 君

### 「博士号取得について

#### ロータリーの支えで歩んだ道」

皆様、こんにちは。3年ぶりに有田ロータリークラブに伺うことが出来て大変嬉しく思っております。また博士号取得について皆様にご報告出来ます事を光栄に存じます。

改めまして自己紹介させていただきます。私は任泰然と申します。出身は中国・吉林省公主嶺市で現在30歳です。中国の大学を卒業後、大学院進学のため2017年4月

に来日いたしました。2018年には和歌山大学の研究生となり2019年には同大学の修士課程に進学しました。同年4月から2年間ロータリー米山記念奨学生として支援を頂きました。

その後2021年4月からは立命館大学の博士後期課程に進学し今年9月に博士号を取得致しました。現在は京都市で働いております。

本日の卓話では、ロータリー米山記念奨学生としての経験やそこで得た事、そして博士号取得について皆様にご報告申し上げます。

アメリカの作家ヘミングウェイは「もし幸運にも若い時にパリに住むことが出来たなら、残りの人生どこに行こうともパリは君についてくる」と述べています。私にとっての“パリ”は、ロータリー米山記念奨学生として過ごした時代であり、人生の中でも貴重な経験だったと感じています。

2018年7月和歌山大学経済学研究科に合格した後、これから2年間をどのような修士課程の生活にしていくべきか思索していました。その際、大学の奨学金サイトでロータリー米山記念奨学金を知り、例会に参加するという独特的の仕組みに強い印象を受けました。

2019年4月に奨学生となってからは、まず何よりも皆様からのご支援で安定した生活を送ることができ、2020年のコロナ禍においても博士後期課程への進学に集中することが出来ました。さらに、日本社会の各界エリートの皆様と交流の機会を頂き、卓話を通じて多様な考え方につれることができました。また和歌山県内の企業見学や、海外からのロータリークラブ訪問の際の通訳など、非常に貴重な経験もさせていただきました。

さらに有田ロータリークラブの皆様との交流を通じて、地域への深い愛情や想いを改めて知ることができました。毎年の地区大会では国際ロータリーの最新の理念に触れ、国際的な視野も広げることが出来ました。

つまり、ロータリー米山記念奨学金との出会いをきっかけとして私の人生は豊かに広がり、大きく変わったと感じております。

2021年4月立命館大学国際関係研究科の博士後期課程に進学しました。研究内容は修士課程で取り組んだ「中国のコミュニティ介護」からさらに発展し「中国の社会福祉レジーム」全体へと広がりました。博士論文のテーマは「中国の社会福祉レジームの地域的拡張に関する研究:吉林省における高齢者介護の事例分析と日本の有田市との比較から」です。このテーマを選んだきっかけは、2022年7月11日から15日にかけて伺った、有田市の特別養護老人ホーム田鶴苑の見学でした。文献調査やアンケート調査と比べ、フィールド調査では、介護施設における一日の業務内容や介護職員・入居者の実態を深く理解することが出来多くの新しい発見を得ました。

さらに、有田市と私の故郷である中国・吉林省公主嶺市には、国内における経済力や人口構成など、多くの共通点が見られました。両地域を対象とした調査を行う中で、日本の中小都市の代表例として有田市を取り上げることで、故郷が抱える高齢化問題への手がかりを探ってきました。研究の成果は論文という形に留まらず、故郷と有田市を繋ぐ架け橋の一端を担えたことは、私にとって何よりの喜びです。今年の立命館大学博士学位授与式

では、課程博士学位取得者の代表として皆様の前で挨拶する機会を頂きました。その挨拶の中で、有田ロータリークラブ会員皆様の地元への深い想いが、私自身に大きな影響を与えて下さった事を述べました。小さな力ではありますが、全力で恩返しをしたいという思いで、これまで研究に取り組んで参りました。

ロータリー米山記念奨学生を卒業した後も、2640地区の米山学友会と繋がりを持ち続けています。毎年の卓話研修・地区大会・イヤーエンドパーティー等の行事にも積極的に参加しています。将来の夢はロータリークラブのメンバーになることです。自分が頂いた御恩を、より多くの人々へと伝えて行きたいと考えています。今後も、よりよい社会人となれるよう精一杯努力して参ります。ご清聴誠にありがとうございました。

### 閉会・点鐘

[木本会長]

